

# 弘前大学皮膚科後期研修プログラム

弘前大学大学院医学研究科皮膚科学講座

〒036-8562 青森県弘前市在府町 5

TEL 0172-39-5087

FAX 0172-37-6060

E-Mail [derma@hirosaki-u.ac.jp](mailto:derma@hirosaki-u.ac.jp)

## 教授からのメッセージ

皮膚は体の最外層に位置し人体を保護する最大の臓器です。発疹は皮膚に咲く華麗な花であり、皮膚の疾患とともに内臓疾患を反映します。皮膚を科学する皮膚科学は、奥が深く、興味が尽きず、生涯をかけて取り組む魅力ある学問であります。

当教室の研修では、原則として3年間の基本プログラムを研修することにより、将来、皮膚科専門医として皮膚病変を有する患者を診療する際に必要十分な基礎的知識と治療技術を習得することができます。きわめて実践的であり、かつ、無理のない研修プログラムの構成となっています。そのうえ、やる気のある研修者であれば、相談に応じて、選択プログラムとして、皮膚外科、皮膚病理、大学院に進学して研究と、自分の興味のある領域も特化できる自由度の高いプログラムとなっています。また、将来は、大学の教員、総合病院の医長、留学も可能ですので、ぜひ、ご相談ください。

澤村大輔

## 弘前大学皮膚科の特色

### ★きめ細やかな指導

弘前大学皮膚科の研修の最大の特徴はきめ細やかな指導です。病棟はグループ診療制であり、外来においても皮膚生検・小手術等は指導医とともに診療する体制をとっています。指導医はカルテの書き方、臨床写真の撮り方、処方仕方、処置の仕方、皮疹の見方、病理組織の見方等の基本的事項を手取り足取り指導します。研修医が無理なく着実に基本的な知識・手技を身につけることができますようになっています。

### ★幅広い疾患の経験が可能

青森県全域および秋田県の一部からも紹介患者を受け付けているため、common diseaseから稀な疾患まで多彩な症例を経験することができます。さらに悪性腫瘍の手術や皮弁術も数多く行っており、リンパ節隔清や皮弁術等も習得可能です。

### ★幅広いニーズにも対応可能

基本プログラム終了後は大学院進学、皮膚外科、皮膚病理、レーザーなど各人の興味に特化した選択プログラムでより専門性を高めることができます。

## 後期研修

### 基本プログラム

#### 後期研修 1 年目：

弘前大学医学部附属病院にて 1 年間の臨床研修を行います。

病棟研修・外来研修、新患診察の助手（週 2 回）、症例検討会・勉強会（週 1 回）等を通して皮膚科診療に必要な基本的知識・技術を身につけます。

#### 後期研修 2・3 年目：

関連病院（青森県立中央病院等）で 2 年間の臨床研修を行います。

皮膚疾患の知識を深め独立して診断できる能力を身につけます。

また、皮膚腫瘍切除術、植皮術等の治療技術を習得します。

### 選択プログラム

後期研修 4 年目以降：各人の希望に応じて皮膚外科、皮膚病理、膠原病、レーザー等さらに専門性を高めるため弘前大学医学部附属病院および関連病院で研鑽を積みます。大学院に進学し研究を行うことも可能です。なお大学院在学中も一定の収入が得られるように配慮しています。

#### <病棟研修>

病棟では病棟医長の下に 2 つのグループがおかれ、疾患の種類を問わずに均等に診療を行っています。グループは卒後 10 年以上の専門医、卒後 6-10 年目の医師、後期研修医で構成されます。悪性腫瘍の手術症例も多く、病棟研修では植皮、皮弁、リンパ節隔清等の様々な手術の執刀・助手を経験できます。

#### <外来研修>

主として再来を担当します。小手術（皮膚腫瘍切除、皮下腫瘍摘出等）や皮膚生検も多数行います。

#### <新患診察>

後期研修医 1 年目では新患診察に助手として入り、予診・検査・処置・皮膚生検等について学びます。新患担当医が皮疹のみかた、問診のポイント、必要な検査、鑑別疾患等を逐一指導します。また、病名の記載等は英語で行うようにしているので 1 年間助手を務めることで診療や論文を読み書きするのに最低限必要な英語を自然に身につけることができます。

#### <症例検討会>

毎週水曜日 朝8時～

外来診療での診断困難症例、難治症例、教育的症例、希少症例などの情報を医局員で共有し、診断・治療法についてディスカッションします。診断力向上のために後期研修医には、検討症例の病歴と臨床写真から診断名を答えるミニクイズに取り組んでもらっています。

#### <勉強会>

症例検討会の後に行っています。担当の医局員が海外文献の紹介や自身が興味を持ち調べたことを発表し、最新の研究や臨床について議論します。

※症例検討会・勉強会・医局会を水曜日の朝に集約しているため、カンファレンスで夜遅くなることはなく、業務終了後は各自の研究・学会準備・勉強等のために時間を割くことができます。また、時間短縮勤務をしている女性医師も参加しやすくなっています。

## 育児との両立について

当科では育児中も勤務を続けることができます。現在、在籍している育児中の女性医師たちは育児休暇、育児短時間勤務およびパート契約などを活用して家庭・育児と両立しながら外来・病棟業務、学会発表、論文作成、研究に従事しています。その他、敷地内に病院附属の保育園もあり、出産後の女性医師が仕事を続けられる環境が整っています。

## 見学について

随時受け付けています。下のアドレスからお申し込みください。

derma(a)hirosaki-u.ac.jp 注) (a)を@に変えてください。

## 入室について

入室をご検討されている方は必ず教室見学をお申し込みください。

見学の日程、時間についてはご相談に応じます。

## 後期研修医からのメッセージ

入局当初、皮膚科の基本的な診察を初め、皮膚外科、皮膚病理など様々な知識を丁寧にご指導いただきました。今でも、わからないことがあると上級医に質問し、ご指導いただいています。そのたびに、皮膚科という学問の難しさや面白さを感じています。皮膚科は分野が多彩で、炎症性疾患や悪性腫瘍、遺伝性疾患や美容皮膚科などたくさんあり、必ず興味のある分野ができると思います。皆さんと一緒に楽しく働けるのを楽しみにしています。